

基本課題Ⅰ 人権（女性の人権及び性を尊重する）

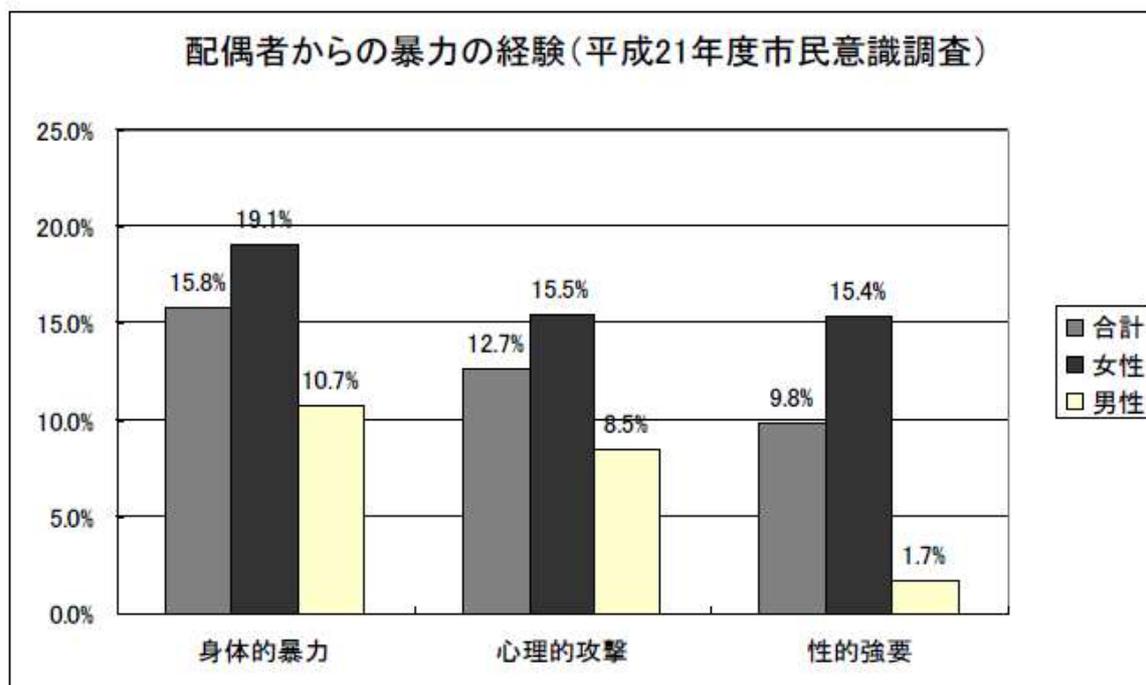
目標 1 男女の人権を尊重するための環境づくり

人権尊重の環境づくりのために、次の施策に取り組みました。

- (1) 女性に対するあらゆる暴力の排除
- (2) メディアにおける女性の人権の尊重
- (3) 国際社会における男女平等の推進
- (4) 人権の尊重と心の健康支援

状況

女性男性とも、配偶者からの暴力の経験がある人がいることがわかっています。

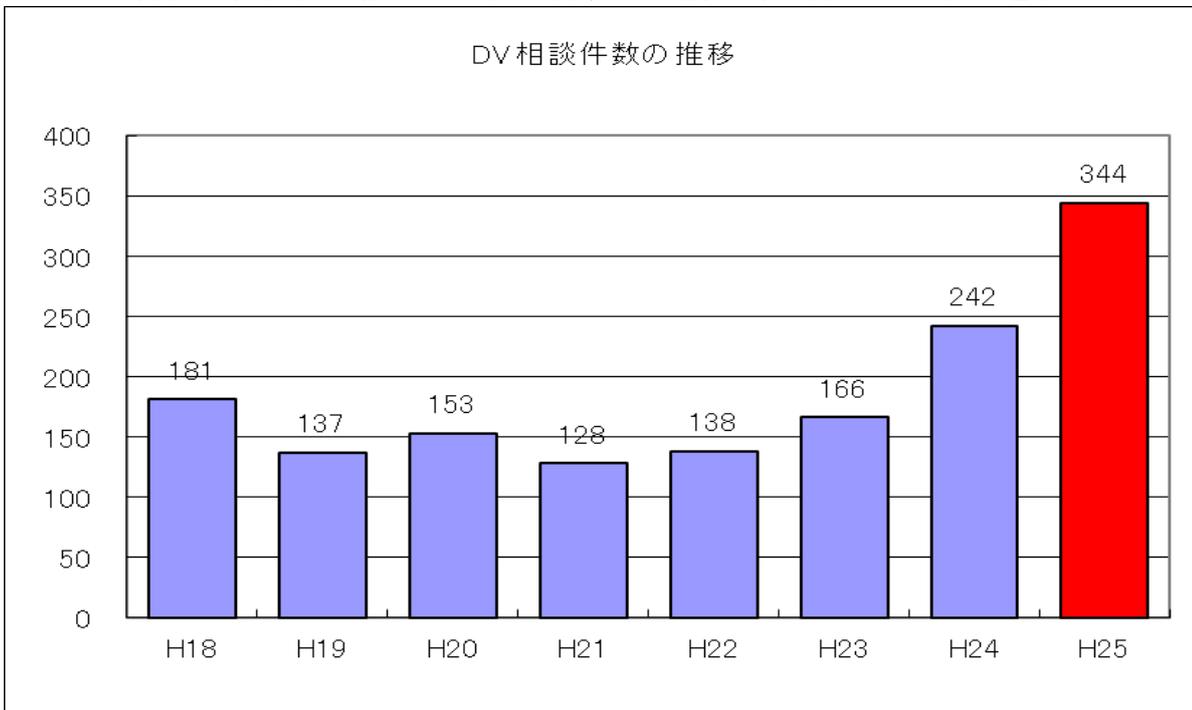


男女共同参画に関する市民意識調査
調査対象：柏市在住の20歳以上の男女
標本数：4,000人
調査方法：郵送による調査

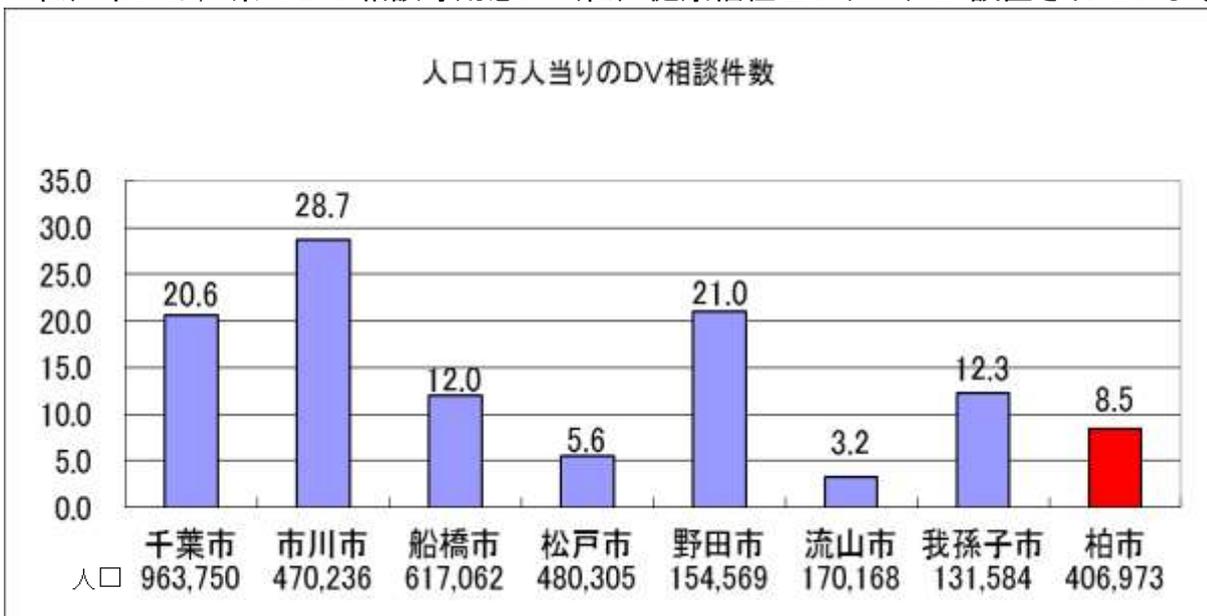
柏市においても、DV被害について相談がよせられており、平成25年度は、前年よりも100件以上増加しています。

相談にあたっては、相談者の気持ちに寄り添うことを心がけ、必要に応じて千葉県女性サポートセンターや柏警察等の関係機関と連携して対応しています。

また、啓発や被害者支援のため、図書展示や講座等の様々な取り組みを行っています。



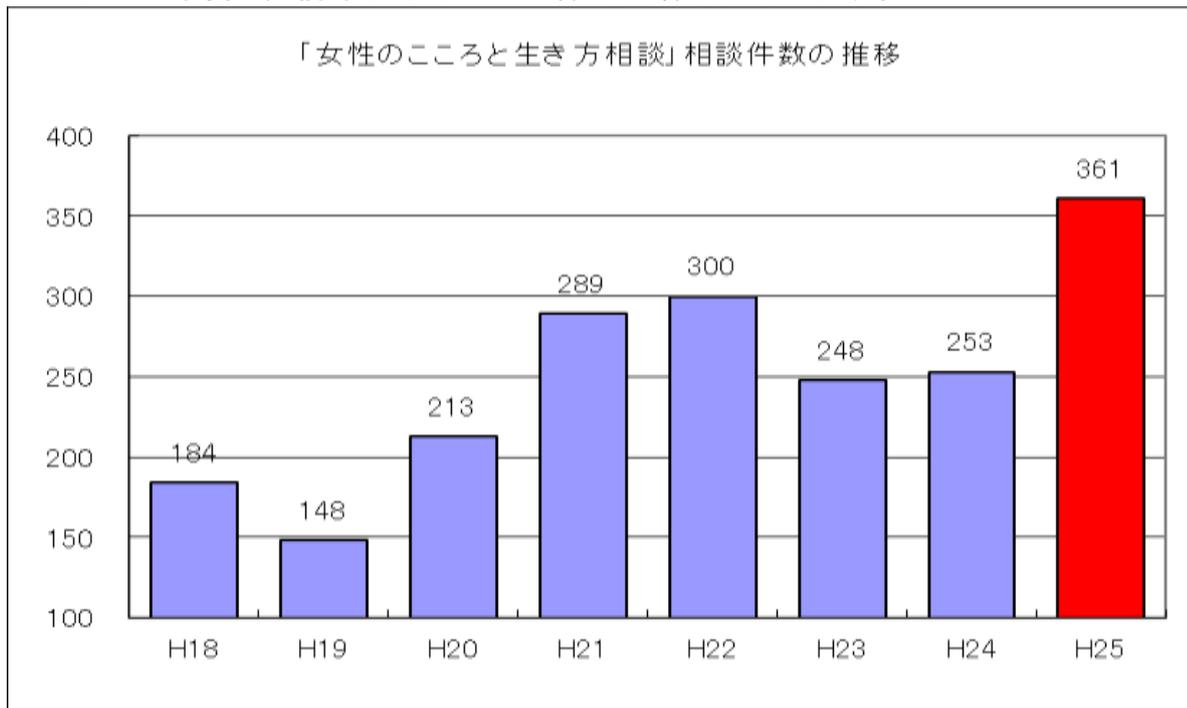
近隣市及び県内の人口上位3市における人口1万人当たりのDV相談件数は次の通りです。千葉市、市川市、野田市は、配偶者暴力相談支援センターを設置しています。松戸市には、県のDV相談専用窓口（松戸健康福祉センター）が設置されています。



※平成25年度中の相談件数と平成26年4月1日現在の人口から算出

女性のこころと生き方相談は、生き方、夫婦、家族、健康など、女性がさまざまな悩みを抱えている状況が伺えます。

平成25年度は、前年よりも100件以上増加しています。



特に取り組んだこと

1 デートDV防止プログラムのワークショップを実施しました

図書展示と併せ、「知っていますか？若者たちのカップル間に起きるデートDV」と題し、DVの被害者や加害者を生まないためのDV未然防止プログラムのワークショップを実施しました。(平成25年11月20日 図書館会議室 参加者20人) 庁内連携



講師 木野麗子さん（グループSEC代表）による、ロールプレイングを交えての講座の様子



◇図書館本館ロビーにて企画図書展示

女性に対する暴力をなくす運動期間に合わせ、DV防止に関する展示を実施しました。
(平成25年11月8日～12月1日)

庁内連携



企画図書展示の様子

推進状況

配偶者からの暴力が人権侵害であると認識する人の割合

	平成21年度 意識調査	⇒	平成27年度目標
身体的暴力	<u>92.4%</u>		<u>100%</u>
言葉の暴力	<u>88.1%</u>		<u>100%</u>

2 全市立小中学校の先生を対象に研修を実施しました

教職員対象の指導課主催の人権尊重教育研修会『学校における人権教育と男女平等教育』を開催しました（各校1名以上参加）。柏市の施策・教育委員会や学校現場での取り組みを紹介し、女性に対する暴力を許さない社会づくりを含め、今後も継続して取り組むよう啓発を行いました。

庁内連携

3 在住外国人のための外国語による支援を行いました

◇外国人アドバイザー相談

外国人アドバイザーが、在住・在勤・在学の外国人の日常生活や市政に関する相談を行いました。現在、日本語だけでなく、英語、中国語、スペイン語、韓国・朝鮮語で対応しています。

協働推進課

◇外国人に向けた多言語メール配信

柏市で生活する外国人に向け、緊急情報や市政情報を英語、中国語、スペイン語、やさしい日本語で配信しました。

協働推進課

4 関係課と連携して自殺予防対策に取り組みました

◇相談窓口の案内や啓発講座などの自殺予防対策事業

悩み別に相談窓口を紹介したチラシを作成し、各関係機関から配布しました。

また、「心の健康講座」などの啓発講座や、無料電話相談・無料対面相談窓口を開設しました。

◇自殺予防対策フォーラム2013「パパのための『地活』フォーラム」を開催しました（平成25年9月21日）



パネルディスカッションの様子



増岡弘さんによる基調講演

働き盛りの男性に多い自殺。「仕事」「家庭」だけでなく「地域活動」という第3の居場所を持つことが、心の健康に効果をもたらします。

フォーラムでは、「地域活動の楽しさ」について声優の増岡弘さんを講師に招き、「マスオ流地域参加のススメ」の講演会を開催。また、地域で活動されている方の生の声を聞くパネルディスカッションや活動紹介のアトラクションとして「柏おやじダンサーズ」のダンスを披露しました。
(アミューゼ柏 参加者127人)

また、男性の地域活動への参加を喚起するため、地域活動実践者のインタビューや様々な地域活動を紹介した「パパの地活応援リーフレット」を3,000部作成し、フォーラムの他、男女共同参画シンポジウム等で配付しました。

◇自殺予防ゲートキーパー養成研修を行いました

悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげることができるゲートキーパーを養成する連続5回の研修を計2回行いました。(千葉大学 参加者65人)
8月には、学校の教職員向けの研修を3回行いました。(千葉大学 参加者30人)

(その他)

- ・相談窓口案内チラシの配布
- ・予防啓発のための駅前キャンペーン（平成26年3月18日）
- ・無料電話相談（126件）・無料カウンセリング相談（167件）
- ・自死遺族支援事業 わかちあいの会ひだまり
- ・いのちと暮らしの相談ナビ
- ・柏市自殺対策推進条例（平成23年6月27日施行 平成27年3月31日まで）
- ・自殺予防対策連絡会議設置（保健福祉総務課，保健予防課）
- ・医療従事者等研修会（平成26年1月143人，同年3月38人）
- ・広報かしわでこころの健康についての記事を連載

■柏市オフィシャルウェブサイト 自殺予防対策に関するページ
<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/061600/p007585.html>

主な取り組み

(相談)

- ・女性のこころと生き方相談（男女共同参画室）
- ・母子自立支援相談（児童育成課）
- ・人権相談（秘書広報課）
- ・法律相談（秘書広報課）
- ・市民相談（秘書広報課）
- ・職員向けにセクシュアル・ハラスメントに関する相談・苦情窓口（人事課）
- ・精神福祉相談（保健予防課）
- ・英語，中国語，スペイン語，朝鮮/韓国語による外国人相談（協働推進課）
- ・自殺対策として無料の電話相談，面談相談窓口を開設（保健福祉総務課）

(DV対策)

- ・DV関係課ネットワーク会議（男女共同参画室）
- ・母子緊急一時避難，相談支援（児童育成課）
- ・高齢者緊急一時保護を実施（福祉活動推進課）
- ・緊急一時避難相談対応（男女共同参画室）

(その他)

- ・女性，男性双方に配慮した表現の広報，出版物，ホームページ作成（秘書広報課）

今後の取り組み

- ・母子自立支援プログラム策定等事業の継続（児童育成課）
- ・就業支援講習会等事業の充実（児童育成課）
- ・自殺予防対策フォーラム開催（保健福祉総務課）
- ・自殺予防ゲートキーパー養成講座（保健福祉総務課）

目標2 女性の生涯を通じた健康支援

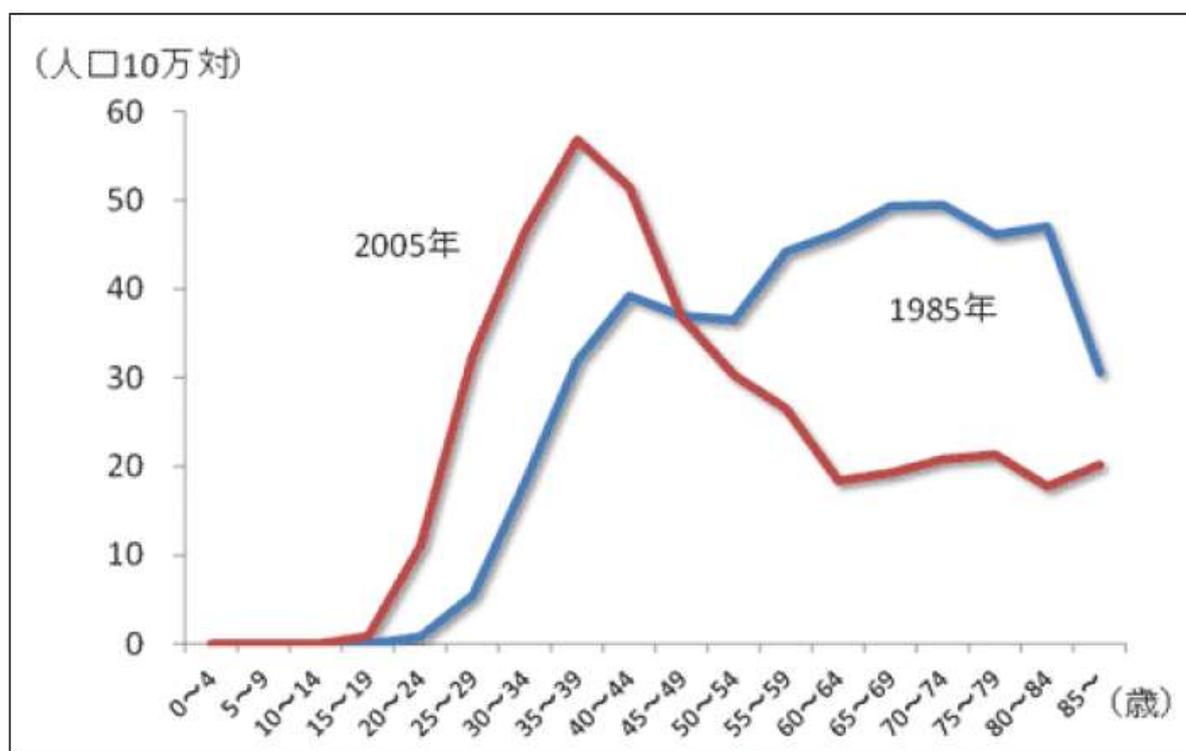
性に対する理解を進めるために、次の施策に取り組みました。

- (1) 性と生殖の健康・権利の理解と普及
- (2) 女性の健康保持と増進

状況

女性も男性も健康に自分らしく過ごせるように、男女の身体的性差を理解しながら健康づくりを目指しています。女性特有の病気の1つの子宮頸がんは、20歳、30歳代でかかる方が増えており、がん検診を呼びかけていく必要があります。

子宮頸がん（上皮内がんを含む）発生率の推移



国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」より

特に取り組んだこと

1 乳がん検診に関するイベントを実施しました

◇乳がん検診体験（平成 26 年 2 月 7 日 92 人）

人が多く集まるショッピングセンターで、乳がん検診体験を実施して、検診の大切さを PR しました。

乳がん予防月間事業として、平成 25 年 10 月 20 日に柏駅前で、乳がんに関する正しい知識の普及や早期発見のためにマンモグラフィ検診を受けることの重要性を呼びかけるマンモグラフィサンデーを企画しました。（荒天により中止）

成人健診課



ショッピングセンター駐車場で検診体験



2 女性のための各種健康診査を実施しました

◇「乳がん検診」「子宮がん検診」「女性の基本 35」を実施しました

※「女性の基本 35」は、35歳の女性を対象とした柏市独自の検診です。
血液・血圧・尿・骨密度について、指定医療機関で個別検診します。

女性の健康支援として、がん検診（乳がん、子宮がん）と出産・子育て期の健康状態の確認のための検診（女性の基本 35）を実施しました。

成人健診課

3 がん検診時等に保育を実施しました

◇乳がん・子宮がん検診時、がん予防講座に保育を実施しました

子育て中の女性の健康支援の一環として、乳がん検診（12回）子宮がん検診（5回）時に保育を実施しました。

男女共同参画室

推進状況

「女性の基本35」の受検者数

平成23年度 ⇒ 平成25年度 ⇒ 平成27年度目標
312人 ⇒ 481人 ⇒ 550人

乳がん検診の受検者数（後期計画新設目標）

平成23年度 ⇒ 平成25年度 ⇒ 平成27年度目標
23,931人 ⇒ 23,810人 ⇒ 26,000人

子宮がん検診の受検者数（後期計画新設目標）

平成23年度 ⇒ 平成25年度 ⇒ 平成27年度目標
20,663人 ⇒ 19,063人 ⇒ 27,000人

主な取り組み

- ・エイズ相談やHIV等抗体検査（HIV、クラミジア、梅毒、B型肝炎、C型肝炎）実施、普及習慣や世界エイズデーに併せた啓発（保健予防課）
- ・思春期保健関係者会議、健康教育実施（地域健康づくり課、学校保健課）
- ・女性の健康診査普及啓発としてリーフレットを作成し、母子保健事業、各種イベント等で配付（成人検診課）
- ・家庭婦人スポーツ大会の開催（スポーツ課）

今後の取り組み

- ・各種健康診査（乳がん検診、子宮がん検診、女性の基本35）の継続実施、受診促進（成人健診課）
- ・医師会、助産師会、市民団体、PTA等との連携による、公立小・中学校で思春期保健健康教育推進（地域健康づくり課、学校保健課）
- ・にこにこダイヤルかしわ（妊娠、出産、子育ての悩み相談）（地域健康づくり課）
- ・ノースモッ子教室（学校保健課・地域健康づくり課）